

第8回 姫路駅北駅前広場整備推進会議 議事概要

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
1	全般について		本日は、前回同意いただいた「地表部の基本レイアウト」をもとに、「地下空間の動線および広さ」や「歩行者デッキのルート」などについて、議論いただきたい。
2	駅ビル・地下街テナントの移転候補先について	駅ビル・地下街のテナントの移転先の新ビルは、誰が建てるのか。	→ (株) 姫路駅ビルが建設主体である。
		駅前の経済の活性化のためには、移転先として新ビルを建てるのではなく、現在の駅前にあるビルの空室を埋める方向で考えるべきではないか。	→ 市としては、事業の推進のために、新ビルを建設することは良い選択であると考えます。
		新ビルは仮店舗か	→ 店舗は仮店舗だが、建物は本設である。
		市バスターミナル跡地については、神姫バスが使うとのことだったが、新ビルの建設は急遽決まったことか。	→ 8月頃、神姫バスが当跡地を使用しないことを表明され、他の目的での利用が可能となったため、事業の推進を考慮し、新ビルの建設を決断するとともに、9月の市議会においても表明した。 ↓ 神姫バスとしては、駅前広場の工事中は市バスターミナル跡地を使いたかったが、借地料が生じるため使用することを断念した。
		新ビルのデザインは、駅前の景観にとって重要であるため、デザインコンセプトとのすり合わせが必要である。	→ (株) 姫路駅ビルには、デザインコンセプトと整合を図るように要望している。
		この会議の位置付けとして、この場で(株) 姫路駅ビルやJR西日本がビルの案を提示するだけでなく、この場の意見をビルのデザインに反映させるような影響力のある会議にしていきたい。	→ (株) 姫路駅ビルやJR西日本には、デザインコンセプトと整合を図るように要望している。
駅前第一ビルなどの建物についても、テナントの移転先になりうるのではないか。	→ 駅前第一ビルなども、テナントの移転先の候補であり、現在、意向調査を実施している。		

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
3	市民トイレ・駅前交番の配置案について	駅前交番の規模によっては、新ビルにテナントとして入ることも可能ではないか。	→ 駅前交番は、安全安心の確保という役割を十分に果たすため、駅前広場内の目立つ場所が良いと考えている。
4	地下空間について	地下空間のどのようなことについて議論するのか	→ 地下空間に関する事務局の考え方に対して、ご意見をいただきたい。本日、地下空間の規模や位置を決め、詳細については、今後検討していくことになる。
		資料中の他都市のサンクンガーデンの大きさを教えて欲しい。	→ 新宿の三井ビル5 5 広場や京橋のコムズガーデンは、姫路市の計画と同規模である。
		地下通路の高さは既設の通路と同程度か	→ 現在の建築基準法に基づき、既設の通路より高くすることを計画している。
		既存の地下街とサンクンガーデンのレベル差やサンクンガーデンの大きさはどの程度か。また、サンクンガーデンは、水と緑のくつろぎ空間をイメージしているのか。	→ 既存の地下街と新駅ビルの地下階のレベル差は約1～1.5 mある。その差を約幅2 3 mのサンクンガーデンで調整していく。また、サンクンガーデンの大きさは、中央コンコースと同規模で、約幅2 3 m、長さ7 0 mとしている。整備内容などの詳細については、今後検討していきたい。
		地下空間に店舗等を配置させるため、法令の特例措置などの活用を検討するべきである。店舗や文化施設が配置されないと、地下空間が寂れたものになってしまう恐れがある。	→ 原則として店舗を配置することは出来ないが、どのような施設が配置できるかについて検討したい。
		駅西に繋がる既設の地下通路は、女の人が夜間1人で歩くには暗くて危険であるため、そのまま使うのは問題である。	→ 駅西へ繋がる既設の地下通路については、バスの乗降客など多くの人を利用すると予想されるので、通行しやすいような工夫を加え、いかに有効活用するかを検討したい。
		まず、サンクンガーデンへの昇降施設の位置を決める必要があるのではないか。	→ サンクンガーデンの規模や位置を決めた後、詳細について検討していきたい。
駅前広場とサンクンガーデンを一体的に利用出来るように、中央コンコース前からサンクンガーデンへアクセスするための通路幅は広く確保すべきである。その際、地下空間と新駅ビルとの接続を十分に考慮し、デッドスペースにならないよう工夫する必要がある。	→ サンクンガーデンへの通路幅は広く確保したいと考えている。		

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)	市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
4	地下空間について	ゴールド街を十分に活かすために、ゴールド街とコアゾーンとの接続を検討する必要がある。	→ 詳細については、今後検討していきたい。
			地下空間の規模や位置については、概ね了解を得られたので、今後、詳細について検討していく。
5	歩行者デッキについて	中央コンコース前の展望デッキについては、中央コンコース前が暗くならないよう大きさを検討するとともに、JRの看板が歩行者デッキで隠れないように工夫する必要がある。	→ 詳細については、今後検討していきたい。
		中央コンコース前には、展望デッキやサンクンガーデンへの昇降施設が必要になるが、歩道の幅が狭くならないよう工夫する必要がある。	→ 昇降施設の位置を決めるためにも、まず歩行者デッキのルートを決める必要がある。
		歩行者デッキのA案を基本として、全天候型の動く歩道を造ってもらいたい。	→ 歩行者デッキの屋根は必要であると思うが、動く歩道の整備は、費用の面から難しいと考える。
		屋根の無い歩行者デッキや市バスターミナル跡地に新ビルが無い3D画像を見せて、意見をもとめるのはいかがなものか。また、駅前の景観の全体像をみたいので、十二所前線から駅前を見た3D画像を提示してもらいたい。	→ イメージしやすいように3D画像を提示したものであり、すべての要素を盛り込んでいるわけではない。歩行者デッキの屋根や新ビルを追加した3D画像を作ることにはできるが、詳細については、まだ決まっていないので、了解いただきたい。
		歩行者デッキのルートや展望デッキの大きさについては、駅前景観の総合的な観点から検討する必要がある。	→ 歩行者デッキのルートなどの基本的な事項を決めてから、詳細について検討したい。
		12街区が高度利用を前提としているならば、駅からのルートを確認するという点で、B案に限られるのではないか。	→ 12街区を高度利用することにより、必ずしもB案に限られるとは考えていない。
		A案は、屋根をつけると、城から駅をみたときに、駅前景観にとって邪魔である。	
		歩行者デッキについては、地表から歩行者デッキをみたときの景観や見え方を十分に検討すべきである。	

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)		市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
5	歩行者デッキについて	西側自由通路前に歩行者デッキへの昇降施設を配置する場合、地表の歩行者空間が不足しないように工夫する必要がある。		
		歩行者デッキのルートは、既存の歩行者デッキの機能確保や交通機関のスムーズな乗換えを十分に考慮して、検討すべきであり、B案は遠回りである。		
		中央コンコース前から駅西方面を見渡したとき、歩行者デッキによって駅前広場が分断されているような印象を受けるため、空間の広がりをもたせるように工夫する必要がある。		
		歩行者デッキの目的や必要性について十分議論する必要がある。JRから山電に向かう地表の横断歩道はよく使われると思うが、安全面からすると、地下に動線をまとめることも選択肢の一つではないか。	→	現在のデッキの機能回復は必要である。また、横断歩道の必要性については、今後検討していきたい。
		歩行者の安全面や駅前の交通混雑の緩和のため、歩行者デッキの代わりに、バス・タクシー乗降場を地下に整備できないのか。	→	地下にバス・タクシー乗降場を整備するには、莫大な費用がかかるため、難しいと考える。
		歩行者デッキは、新駅ビルの2階との接続を考慮する必要がある。デザインコンセプトの主旨である城への眺望を確保するため、展望デッキは必要である。		
		歩行者の安全のため、歩行者デッキや地下空間などの活用は必要である。	→	歩行者の安全のため、地下空間を活用するとともに、横断歩道における信号機の設置について検討する必要がある。
		歩行者デッキについては、歩行者デッキに屋根を追加した3D画像を見てから判断したい。 ↓ 次回、3D画像を提示する。	←	歩行者デッキについては、本日の意見を検証させていただき、基本設計に入っていきたいと考えている。
		展望デッキの必要性や歩行者デッキの大きさを検証するためにも、3D画像を提示して欲しい。		

No	項目	意見の概要 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)		市の考え方 (※ 意見の概要に↓があるのは委員などの応答)
6	その他について	市議会では、推進会議における専門的な立場からの意見を重要視しているため、忌憚のない意見をいただきたい。		
		バス・タクシー乗降場を大手前通りの以西に配置することは了解しているが、バス乗降場の形状やバス・タクシーの動線については、今後詳細に検討する必要があると考える。	→	今後、詳細については、関係機関と協議していきたい。
		今後の進め方として、市民ワークショップや専門家会議などの議論の場を持つことは、駅前の計画に役に立つと思う。	→	専門家会議の枠組みについては、決まり次第報告する。今後、専門家会議での意見を参考に、デザインなどを検討することになる。
		今後、山電前のタクシー乗降場やOS前のバス停留所を配置した図面を提示して欲しい。	→	今後、大手前通りのバス停留所の必要性について検討していきたい。
		歩行者デッキに関しては、もう一度議論すべきである。	→	10月中を目途に、次回の推進会議を開催したい。